

アンケート結果を受けて改善したいところ 【自然科学系】

中等理科クラスの自由記述欄に「レポートが多い」という記述が目立ったが、中等理科クラスではちょうどレポート提出間際の授業時にアンケート調査を行ったことに関係していると推察する(中等理科の学生の質にも関係している可能性がある)。他のクラスでも同じ授業を行い同じレポート課題を出したが、レポートについての記述は一つもなかった。

中等のクラスは春にタンポポの分布調査を行った。学生の中には黄色い花をタンポポと識別してしまうものもいた。識別を間違えると調査が大変になる。来年度以降、最初の講義の時に識別や調査の方法の説明時間を増やすように試みる。

受講学生の学修への意識づけや、学生へ概説する場合における学修の進め方については、引き続き改善に向けた検討の余地があると考えています。学生が「読解すること」「質問すること」「向上意欲を示すこと」については引き続き彼らに必要な資質能力であるという捉えを大事にして、取り扱っていきたいと思います。

基本的には学生から一定の評価を得ていると判断しているが、学生のノートテイク量の加減について検討する必要があると感じている。

【算数科教育A・B】【算数科教育A・B】

どちらも概ね満足度は高いのですが、さらに高くなるように課題や授業展開等を工夫したいと思います。引き続き、最新の教育の話題も授業に取り入れていきます。

今期は同一科目の2クラスのアンケート結果を得たが、まず感じた(再確認できた)ことは、同じ担当で同じ内容を扱った授業でも、その授業に対する感想やその傾向はだいぶ異なるということである。おそらく、各受講生の専門や卒業後の希望進路、またそのクラスの雰囲気などに依存していることと推測されるが、この結果を踏まえて授業改善の方向性を検討するのであれば、やはり本科目の方針をこれまで以上に徹底して伝えることである。これまでは初回授業でのみアナウンスしていた内容(例えば、この科目の目的は「新しい知識を得ることよりもむしろ、それらアイデアを新しい観点とした際に自らの考えや算数の授業実践がどう変わるのかを自分なりに考えること」であること、したがって「提示された知識を一字一句すべて暗記する必要はなく、それら知識の多くに共通する勘所を抑えてほしいこと」など)を、機会のあるたびに周知徹底したい。

講義における情報量の精選をすることにより、例えば学生同士のコミュニケーションの時間を確保するなど、講義の進め方について工夫をしていきたいと思いました。

授業の難易度について

問15に「1時間未満・なし」が7割を超えるというのは大問題であるが、(3)のように、前回授業で出した問題を次回までに考えてくるような課題を数回出すようにはしている。この頻度を増やして、2回に1回程度、レポートのような形で一定の課題を課して、授業のリフレクションをさせるような作業をさせてもよいかもしれない(諦める学生は一定数出てくると思われるが)。

もう少し授業時間外での勉強時間を増やしたいので、何らかのレポートを課してもよいかもしれないが、1単位授業であるため致し方ないかもしれない。

- ・ (3)にも記した通り、問13「授業の難易度」に「難しい・難しすぎる」と回答した学生はクラスによって差があり、5割を超えるクラスがあった。問14「授業内容の量」に関しては、「多い・多すぎる」と回答する学生は、多いクラスでも精々2割程度であるため、内容面での質的精選を検討したい。
- ・ 問15「週当たりの学習時間」に「なし」と回答する学生を減らす工夫はしたい。

アンケート結果に物理分野の授業内容が難しいという意見があったので、難易度調整を行いたい。

週あたり学習時間なしの学生を減らす工夫が必要かと思う。
授業内で学習が完結している学生が多いことから、全て授業内で解決できるものだけでなく、自分で後は考えるような授業展開も模索したい。

難易度や授業内容量については、ちょうどいいという学生が多いが、学習目標が達成できたかどうかについては、どちらともいえないが多い。矛盾しているようにも見えるが、表面的には内容を理解できるが、深く理解することが難しいということだと考える。もう少し、学生同士で理解できるような話し合いや自己解釈する時間を増やしたい。